

つくば市入札監視委員会

令和6年度第1回定例会議 審議概要

開催日時	令和6年(2024年)8月2日(金) 13:30~16:00	
及び場所	つくば市役所 コミュニティ棟3階 会議室A・B	
出席委員	委員長 前田 聡 (大学教授) 池田 鉄哉 (国立研究所職員) 大和田 幹夫 (元地方公務員) 高畠 由美子 (税理士) 田中 雅子 (大学准教授)	
	(敬称略)	
審議対象期間	令和5年(2023年)10月1日 ~ 令和6年(2024年)3月31日	
審議案件総数	6件	
建設工事	3件	(一般競争:2件、随意契約:1件)
測量・建設コンサルタント	1件	(一般競争:1件)
業務・物品等調達	2件	(一般競争:2件)
委員からの 質問・意見、 それに対する 回答等	意見・質問 別紙のとおり	回答 別紙のとおり
委員会による 建議の内容	別紙のとおり	
その他	次回会議は令和7年1月又は2月に開催予定。	

【事案1】 5市起道維第11号宝陽台地区道路舗装工事	
《 条件付き一般競争入札 》 電子入札(総合評価)	
開札日	令和5年(2023年)11月21日
主管課	建設部道路管理課
種別	舗装工事
応札者数	8者(参加申請:9者)
予定価格	14,330,000円(税抜き)
落札額	12,550,000円(税抜き)
落札率	87.58%
質問・意見	回答・説明
入札参加資格を満たすと想定された業者数と記載があるが、業者リストがあるのか。	業者のリストはある。
失格者2者あり、落札者決定までの、低入札価格調査の予備調査の経緯について確認したい。	本事案は総合評価方式であるため、最高の評価値であった事業者の入札価格が失格基準を上回り、調査基準価格を下回っていたため、予備調査を行った。数値的判断基準に該当したため失格となった。評価値が次点の事業者も同様に予備調査を行い、同様に失格となった。次々点の事業者も同様に予備調査を行った結果、数値的判断基準に該当しなかったため落札候補者と決定した。
低入札価格調査の予備調査は他の自治体も実施しているのか。また、統一の基準があるのか。	茨城県も実施しており、他自治体でも導入している。基準は茨城県に準じて設定している。
同額入札者がいるが、積算基準に基づいて計算しているからこうなるのか。	お見込みのとおりである。
価格ではなく評価値が高い事業者が落札するのか。	本事案は総合評価方式という、価格競争だけではなく、技術力や地域貢献度等、総合的に評価して落札者を決定する入札方法を採用している。評価値は、あらかじめ公告した評価項目について評価点を算定し、入札価格との計算で評価値を算定している。失格基準価格以上の最高の評価値の者が落札候補者となる。
《評価》 この事案の入札事務は、適正に行われたものとする。	

<p>【事案2】 5市単排整第2号上岩崎地区ほか排水路改修工事</p> <p style="text-align: right;">《条件付き一般競争入札》電子入札</p>	
開札日	令和5年(2023年)12月13日
主管課	経済部土地改良課
種別	土木一式工事
応札者数	8者(参加申請:10者)
予定価格	12,290,000円(税抜き)
落札額	11,380,000円(税抜き)
落札率	92.60%
質問・意見	回答・説明
失格者が4者いるが、考えられる原因はあるか。	今回の開札のランダム係数が81通りの4番目に高い係数であったため、最低制限価格が高くなり、失格者が多くなったと考える。
最初不調になった際も、同様にランダム係数が高いことが不調の原因であったのか。	1回目の開札では応札者が1者であり、その応札者が落札制限で無効となったため不調になった。 落札制限とは、「この公告の日に公告した建設工事の入札案件について、落札候補者となれるのは、開札順に1件までとする」入札要件のことである。
最初不調になった際、応札者が1者であったとのことだが、考えられる問題は何かあったのか。	稲作に影響が出ないように稲刈り終了後(10月末～11月上旬開始、3月末終了)に工事施工されるものであり、発注時期に制約がある。このことから、すでに事業者の手持ち工事がいっぱいになっており、入札参加できないことが考えられる。
総合評価方式で発注するか否かは誰が決定するのか。	市として年間の目標件数を設定しているが、どの案件にするかは発注担当課が決定している。
総合評価方式の目標件数と、割合としてどれくらいか。	令和5年度は建設工事全体件数が255件であり、目標及び実績件数は50件であったため、割合は2割程度。 令和6年度の目標件数は60件である。
くじの方法について知りたい。談合等の恐れはないのか。	応札者は入札金額を入力する際に、任意の3桁のくじ番号を入力する。すべてのくじ対象者が入力した数字の合計を、くじの対象者数で割り、出た余りの数と、応札順序が一致した入札者が当選となる。 一般競争入札であり、参加者が不特定多数であること。また、複数の応札者があり、その中で応札の順番を調整するのは不可能だと考える。

《評価》

この事案の入札事務は、適正に行われたものとする。

【事案3】 5市単公施かみかわ浅間市民緑地整備工事

《 随意契約 》

見積期日	令和6年(2024年)1月9日
主管課	建設部公園・施設課
種別	とび・土工・コンクリート工事
見積者数	4者
予定価格	4,080,000円(税抜き)
見積金額	3,880,000円(税抜き)
比率	95.10%

質問・意見	回答・説明
本事案のように不法投棄等の問題等で市民からの要望で工事をすることはよくあるのか。	たまたまであり、そのような事情で工事を行うことは少ない。
当初入札で応札者が2者と少ないが、予定価格と関係しているのか。全体の傾向としてどうか。	発注時期が遅いことと、予定価格が低いことで、応札者が少ないと考えられる。
早急な対応が可能と見込まれる業者とはどうやって選ばれたのか。 また、選定業者の取りこぼしは無いのか。	施工現場に近い地元の業者であること。また、建設部で工事の実績がある事業者の中から選定した。完全に無いとは言えないが、なるべく取りこぼしがないように選定している。
当初の開札が12月13日であったが、仮に再度、一般競争入札にかけたら、いつごろの開札になったのか。 また、それでは工事が間に合わなかったのか。	2月ごろの開札となり、それでは年度内の完了に間に合わなかった。
随意契約の場合、予定価格から乖離した見積もり金額だった場合どうなるのか。	低い金額の場合、随意契約では最低制限価格等は無いため、品質確保等の確認がとれれば契約となる。予定価格を上回った場合は失格となる。
随意契約の場合、応札者がいないことはあり得るのか。	ほぼ起こりえないが、ごくまれにある。
予定価格はどのように決定されるのか。	国等の積算基準に基づいて、積算し、積算金額が予定価格となる。
見積もりを依頼した事業者は、事業者同士に事前に伝わるのか。	他にどの事業者に見積もりを依頼しているという情報は、伝えない。

《評価》

この事案の契約手続きは、適正に行われたものとする。

【事案4】 5市単茎崎第三小学校校舎長寿命化改修設計業務委託

《条件付き一般競争入札》電子入札

開札日	令和6年(2024年)2月22日
主管課	教育局教育施設課
種別	測量・コンサルタント(建築関係コンサルタント)
応札者数	9者(参加申請:9者)
予定価格	36,230,000円(税抜き)
落札額	28,640,000円(税抜き)
落札率	79.05%

質問・意見	回答・説明
契約時点で築何年だったのか。	築44年である。
長寿命化工事で、どれくらい使用できるようになるのか。	長寿命化計画とは、通常コンクリート造りの耐久年度が60年であるところを、20年間延ばし、80年間使用できるようにする計画である。
今回はランダム係数が1.000で最も低い係数であったが、仮にランダム係数が1.0400の場合は、今回の落札者は失格となり結果が変わっていたということか。	お見込みのとおりである。
予定価格ではなく、最低制限価格に近い応札額が多い。考えられる理由はあるか。	業務の経費は、主に人件費であるため、事業者ごとの体制によるところである。
建て替えよりも長寿命化のほうがコストは抑えられるのか。	基本的にはこの長寿命化のほうがであるが、各地域の事情、学校が建てられてる環境により、建て替えの方が効果的という場合もあり、実施計画の前に検討している。
ランダム係数はどのように決定するのか。	開札当日、開札開始前に、立会いに来ている事業者に、81通りのくじを引いてもらい決定している。
長寿命化を計画している学校はほかにもあるのか。	令和6年度は、手代木南小学校特別教室、真瀬小学校校舎、手代木中学校武道場、谷田部中学校、茎崎中学校で計画に基づいて実施している。

《評価》

この事案の入札事務は、適正に行われたものとする。

【事案5】 5市単雨水維(委)第7号学園南調整池除草業務委託	
《条件付き一般競争入札》電子入札	
開札日	第1回:令和5年(2023年)12月13日 第2回:令和5年(2023年)12月20日
主管課	上下水道局下水道工務課
種別	物品・役務(除草)
応札者数	第1回:14者(参加申請:15者) 第2回:13者(参加申請:14者)
予定価格	9,880,000円(税抜き)
落札額	9,429,000円(税抜き)
落札率	95.44%
質問・意見	回答・説明
ランダム係数は1回目入札の後に公表されたのか。	再度入札対象事業者にはランダム係数を通知している。
ランダム係数がわかれば、最低制限価格が計算できると思うが、最低制限価格と異なる金額で応札者がいる理由は何か考えられるか。	最低制限基本価格は非公表のため、事業者の積算方法が異なるからと考える。 また、経費については、事業者によりまちまちなどがある。予定価格は公表しているが、その内訳については、こういった業務に精通してる事業者とそうでないかで差は出てくると考える。
この調整池は市街地の雨水のためのものか。また、草や木の現地状況を知りたい。	そうである。区画整備事業を行った際に、県の開発基準に沿ってできた調整池である。施工後、市に移管を受けた施設である。 雑草や雑木が生えており、雑草の種子が飛散し、生活に影響が出ていたため、底面の除草を今回移管後初めて行った。
毎年発注するものか。また予定価格は同様の見込みか。	学園南調整池は今回が初めての除草業務であるが、毎年除草している調整池もあり、今後計画的に行っていく予定である。 今回は移管後初めての除草で、雑木があったため、そのことが予定価格に反映されたが、次回は雑木の処理は済んでいるため、多少は予定価格は抑えられると考える。

<p>参加事業者が多いが、考えられる理由は何か。</p>	<p>発注時期が冬場であり、通常の除草作業等が発生しない。造園業者にとって、除草業務の閑散期であったためと考える。</p>
<p>繁忙期かどうか等、時期により単価が高くなることはあるのか。</p>	<p>基本的に労務単価は県単価を利用しているため、時期によって変動することはない。県の単価の改定に合わせて設定している。</p>
<p>今回はあえて除草業務の閑散期に発注したのか。</p>	<p>そうではなく、調整池の性質上、常時水が溜まっている状態のため、渇水期である冬場の発注になった。</p>
<p>《評価》 この事案の入札事務は、適正に行われたものとする。</p>	

【事案6】 6送迎バス運転管理業務委託(大穂幼稚園)

《条件付き一般競争入札》電子入札

開札日	令和6年(2024年)2月16日
主管課	教育局学務課
種別	物品・役務(その他)
応札者数	2者(参加申請:2者)
予定価格	4,485,000円(税抜き)
落札額	2,983,200円(税抜き)
落札率	66.52%

質問・意見	回答・説明
園児の数及び運行の所要時間を知りたい。	2ルートあり、1ルートは7名、もう1ルートは9名。運行時間は1便45分で2ルート合計で1時間30分である。
単年度契約なのか。	そうである。
昨年度は同じ事業者だったのか。その際の落札価格はいくらか。	昨年度は別の事業者が落札している。落札価格は313万5,000円であった。
園児の置き去り防止等の対策は運転手にも課されているのか。また責任の所在はどうなっている。	置き去り防止装置があり、その操作は運転手がする必要はあるが、別に市の会計年度任用職員も添乗員として同乗し確認するようになっている。契約上、市の責任である。
この送迎業務は何年やっているのか。また今回の落札率はこれまでに比しても低いのか。	送迎業務は、数十年前からやっているが、大穂幼稚園が委託しているのはここ数年である。落札率は直近の結果に比して低い。
落札率が低い理由は何が考えられるか。	受託者の事業所と大穂幼稚園の距離が近く、距離的な優位性が積算に影響し、落札率が低くなったのではと考える。
落札率が低いですが、運転手に対して最低賃金は支払われているのか。	事業者の賃金台帳を確認し、最低賃金以上が支払われていることを確認している。
運転業務を市の職員から委託に切り替えた理由は何か。	運転士を特別に採用する必要があり、当課の考えだけでなく市全体の職員採用方針に基づいて決定したものと考える。

《評価》

この事案の入札事務は、適正に行われたものとする。